

支部活動レポート令和6年度桂雪会 東京・関東支部役員会報告

高橋 彰（高 24）

今夏の異常な暑さが一息ついた令和6年 11 月 16 日、桂雪会東京・関東支部の役員会を昨年同様、原宿駅前の「南国酒家」で開催した。2年ごとに開く総会の狭間で、卒業年次を代表する役員が参加した。

副支部長の山城弘枝氏（高 33）の進行のもと、昨年、支部長となった阿部靖典氏（高 31）の開会挨拶で始まり、飯山高校金井繁昭校長先生（高 38）から「スキー部インターハイでの女子優勝、男子準優勝をはじめ、生徒は学業、部活動で皆頑張っている。飯山高校 120 周年の記念事業としてこれまで部活動で使用されていた合宿所を「桂雪会館」として整備を行った。今後は会議室の利用、交流の場として有効に活用していきたい。なお残念だが、来年度は受験者数の減少見込みでクラス縮減の可能性がある。」と現状報告して頂いた。

また、桂雪会本部の宮本衡司会長からの役員会開催に寄せる祝電も紹介された。

続いて役員会議題に入り、副支部長の高橋（高 24）から、本部・支部の活動を報告し、「生徒数の減少により在校生の会費で成り立つ桂雪会は今後検討が必要」等の課題を含め報告した。阿部支部長から会計報告、中島謙次氏（高 41）から会計監査報告がなされた。

懇親会は、世話人として新たに加わった月岡英彰氏（高 45）の進行のもと、最年長の佐々木喜之氏（高 8）の乾杯で始まった。「南国酒家」自慢の中華フルコースに紹興酒も相まって、円テーブルを越えた和やかな話の輪は会場いっぱいに広がった。さらに、出席者全員が順番にマイクの前に立ち、互いの近況や桂雪会への想いを披露し会場は大いに盛り上がった。

最終盤の校歌斉唱では、山城弘枝氏 のリードのもと、まだ覚えきれず最後の「～おお栄えあれ飯山高校」だけが響く飯山高校校歌、そしてお待ちかねの飯山北高校歌「甲斐の高峰に～」が高らかに歌い上げられた。最後は顧問の岡田庸利氏（高 8）の一本締めで閉会し、来年の総会が盛大に開催できることを祈念して散会した。

今回は、残念ながら南高、照丘高出身の参加がなかったため、両校の校歌は唄えなかった。なお、月岡英彰氏（高 45）、片桐睦月氏（高 45）の若手 2 名が新たに支部世話人として加わるようになった。令和7年は総会の年であり、今後とも本部と連携しながら、同窓生のさらなる参加拡大を目指していきたい。

令和6年度 支部役員体制

顧問	岡田庸利（高 8） 青井富雄（高 19）
支部長・本部代議員	阿部靖典（高 31）
副支部長・本部副会長	高橋 彰（高 24）
副支部長	山城弘枝（高 34）
会計	藤好しのぶ（高 44）
事務局	六川裕幸（高 34）
会計監査	中島謙次（高 18）

